

## 第1回建設産業戦略的広報推進協議会（仮称）議事概要

日時：平成25年8月28日（水）10:00～12:00

場所：（一財）建設業振興基金 7階会議室

○顧問、アドバイザー及び委員より、建設産業戦略的広報推進協議会（仮称）の名称及び今後の活動プランについて、以下のような発言があった。

- ・ 若手技能労働者の入職促進は待ったなしの状態である。建設業団体等において創意工夫をしながら広報を進めていたが、世間一般の方と建設業界関係者の間にはギャップがある。建設産業の埋もれた魅力を掘り起して発信するためにアクションしていきたい。

今年の3月に蟹澤先生を中心に取りまとめられた「建設産業の魅力を発信するためのアクションプラン」に基づき、個々の立場を超え連携しながら検討して頂きたい。

### 1. 戦略的広報推進協議会の名称について

- ・ 分りやすく親しみやすい名称が良いのではないか。
- ・ 耳に引っかかる響きや分りやすいものが良い。何かの数字を出してみるのも良いのではないか。建設産業に従事する者の数（500万人）など具体的な数字を織り交ぜてみたらインパクトがあるのではないか。
- ・ 未来に希望が持てて分りやすいものが良い。魅力発信というフレーズは良いと思うが、入職促進などは違うと思う。
- ・ 全体的に固い印象がある。また内部から魅力を発信するというのも違和感がある。魅力を発信するのが目的であるが建設業の実態を知ってもらうことが必要。ひらがなで略語として呼べるものが良い。
- ・ プロジェクト名がホームページ名になるようなものが良いのではないか。日建連ではビルドアップという若者向けのポータルサイトを構築していたことがある。「若者皆で盛り上げていこう」という趣旨の名前も良いと思う。
- ・ 色々な情報や切り口で見せるかが鍵になると思う。どんなカテゴリーを作るかも大事であると思う。皆様の一押しコンテンツがこれだという議論も必要ではないか。
- ・ ホームページを作るときに大人の目線で見せるより子供達の視点に立ち構築する方が効果的であることから、このようなことも視野に入れながら決めるべきではないか。

### 2. 建設産業戦略的広報推進協議会に関する今後の活動プランについて

- ・ ターゲットである若い人は「新分野進出」は興味が無いと思う。若い人達の言葉などを載せた方が興味を引くのではないか。
- ・ 「今日の建設の仲間」みたいな、人にスポットを当てた企画は良いと思う。必ず今

日も見てみようかなと思わせる仕掛け作りが必要である。

- ・ 若者に響くようなコンテンツの見出しを考えないといけない。新工法や災害対応などという名称は考え直していく必要がある。
- ・ 各委員の方はそれぞれの団体の代表であるから、次回までに各団体で持っている内容を探して頂きたい。各団体以外の情報も必要である。基金が考える方法もあるし、各団体で考えていく方法もあると思う。

また、建設業の出前講座の話とかインターンシップの情報なども考えられる。各団体でイベントを考えて頂き、電子情報だけではなく、各団体のアクションをこのホームページに掲載することも考えて欲しい。

電子情報の世界とリアルの世界をこのホームページに載せていきたい。

我々が見て楽しいと思うような内容にしないと誰が見ても楽しくないので、今後、内容を検討していきたい。

- ・ 子ども霞が関見学デーで子どもを重機に乗せるなど体験型のイベントもこの協議会で検討して頂きたい。各団体で持ち帰って頂き、検討して頂きたい。
- ・ 何らかのイベントを国交省にも企画して欲しい。年内は難しいとしても来年のGWに何かのイベントをやるなどこの協議会で検討していきたい。
- ・ 学校の土曜日授業が始まり、その授業の中で防災に関することを市役所の方が講義するようだが、我々から出前講座として発信していくことが必要だと感じた。
- ・ 高松の土木の女子会としてキラキラ高原女子会を立ち上げ、日頃の自分達が勉強していることを紹介することで入職促進に向けたアピールをしているが、こうした取り組みをこの協議会で広めていければと思っている。
- ・ 就職合同説明会の話だが地場の専門工事業の会社が入ってくることはまず無い。建設業界が率先して行わないと進まないと思う。例えば地方整備局グループ単位で業界団体として何か行うことも検討していく必要があるのではないかな。
- ・ 各団体のものだけでは情報に限りがあるので、他のものも持ち寄ることも検討したい。以前、海建協会に出向していた時に日本のシールド技術をDVDに収めて海外で見てもらった事があるが、こうしたものを動画でアップすることも検討の余地がある。
- ・ 例えば建設図書館など、どこに何があるとか、入手できるとかという情報を表に出すだけでも効果はあると思う。
- ・ 面白い動画を集めてコーナーにするとか、少し驚かれるものを見せることも企画としてはありだと思う。
- ・ 子供たちの重機体験は各地方でも行っているが、一般紙などに取り上げて貰えない。国土交通省が霞ヶ関で行えば、一般紙にも取り上げて頂けると思う。
- ・ 全国の建設業協会でも日程調整をして、ある一定の日に統一的なイベントを行うとインパクトもあるので今後検討して欲しい。

以上